ACCロケーターコンテスト 2024

インターナショナル アワート、チェーサース、 クラフ (ACC) 1 エリア支部主催(10-4-139)

目的 430MHz帯の活性化、グリッドロケーター(以下GLと略)の普及。

- · 2016年からマルチプライヤーが変更になりましたのでご注意ください。
- ・ 2019年から運用周波数が拡大しましたので色々なモードで参加できます。

期間 2024年6月17日(月)00:00~23日(日)23:59 6月父の日の翌月曜日から一週間(7日間)のマラソンコンテスト

参加資格 国内アマチュア個人局、社団局はACC各支部所属社団局 (JN1YMP, JN1ZGI, JI2YZV) および本部社団局(JE4YOL)「以下ACCクラブ局と略す」 のみとし、これらのACCクラブ局は得点サービスの運用を行う。一般社団局(クラブ局)は除く

周波数 430MHz帯[モードは全て、種目は設けない]

参加部門 メンバー部門・一般部門

呼出方法 [電信] CQ ACC TEST [電話] CQ ACCコンテストコンテストナンバー RS(T)レポート (+ACCメンバーはM) +GL(6 桁)

データ、画像、ATV等は、電話や電信に準じる。FT8とFT4での交信例は最終ページを参照。

注意

- ・ 日が違えば運用地の変更可、ログに市郡区町村ナンバー**あるいは**市郡区町村名等を記入
- ・ ロールコール中の交信も有効
- · 日が違えばACCクラブ局と重複交信可

禁止事項

- ・ 呼出周波数における呼出・交信
- 2波以上の同時電波発射
- ・ レピーターの使用
- 上記のACCクラブ局を除き、同一局との重複交信(モードにかかわらず)
- ・ 一般社団局(クラブ局)との交信は無効、ログへの記載不可
- ・ ACC メンバー局の一般局としての参加

得点

- ACCクラブ局との交信でGL(6桁)の交換有り5点
- ACCメンバー局との交信でGL(6桁)の交換あり
- ・ 一般局との交信で GL(6 桁)の交換あり 2 点
- 一般局及びメンバー局との交信で GL(6 桁)の交換なし1 点

マルチプライヤー 運用日数 (最大7マルチ)×異なるGL (6桁)の数

総得点 得点合計×マルチプライヤー

チェックリスト 交信局数 100 局以上はチェックリストを提出する。

失格事項

- ・ 提出書類の不備(文字判読困難な書類など)
- 虚偽の報告
- チェックリストなし

審査 提出されたログ内容を事務局にて審査し、前記禁止事項に抵触する書類は失格。

上位入賞者に対して疑問点があれば確認作業を行い、前記禁止事項に該当すれば失格とする。

入賞 メンバー部門と一般部門それぞれ 1位、2位、3位の入賞局に賞状を贈る。 同得点の順位は最終交信の日時間が早い局を上位とする。

参加賞 ログ提出時に SASE(84 円切手を貼った長型 4 号封筒に住所氏名、郵便番号を記したもの)を同封した局に送付する。

書類 JARL 形式のサマリーシート・ログシート(A4版)または同等のものに、必要事項を記入して郵送する。

また、メール添付での提出は、下記の形式のみを受け付ける。

JARL ログファイル (csv)

JARL 電子ログシート

EXCEL ファイル

書類提出 締切 7月23日(必着)

提出先 〒206-0001 東京都多摩市和田157-1-503

ACC#2372 7L3IUE 多田良平

問合先 SASE または acc2372-7l3iue@rainbow.dti.ne.jp (@を半角にして下さい)

結果発表 ACCBT9月号とACCHPほか掲載予定

コンテスト用ロギングソフト GTESTWIN(4.33 以降)に対応していただきました。ただし、以下の制約があります。ユーザー定義ファイル(ACC.md)は ACCの HP

(https://www.jarl.com/acc/ctestaccinfo.html)よりダウンロードしてご利用下さい。

- 1. 取得したマルチ(6 桁の GL)は、「表示」「取得済みマルチのみ表示」で表示できます。 但し、この画面は、自動的に開きませんので CTESTWIN 起動ごとに指定が必要です。
- 2. 日が違えばACCクラブ局と重複交信可であるため、「設定」「各種設定」の「入力」タブで、「重複局(dupe)も記録する」のチェックを入れてください。

更に「dupe 局 running 時のみ記録(S&P は Call 消去)」のチェックは外してください。

3. 電子ログは、「ファイル出力」「JARL 電子ログシート出力」「JARL 推奨旧フォーマット(R1.0)」で作成してください。

「JARL 推奨新フォーマット(R2.0)」は、使用しないでください。

参加部門種別コード欄には、何かの英数字を入れてください。(何であっても構いません)

4. 運用日数のマルチプライヤー対応はできませんので、手動で得点の計算をして、<TOTALSCORE> の訂正をお願いします。

電子ログは、テキストファイルですので、Windows 標準搭載のメモ帳等で編集ができます。

- 6. ACCクラブ局以外の社団局との QSO はチェックしていないので、QSO してしまった場合は、手動でその QSO 行の Pts を 0 点にして、<TOTALSCORE>を訂正してください。

交信局数 100 局以上の例外として、CTESTWIN からの JARL 電子ログシートの場合は(**重複局を自動 チェックするので**) チェックシートの提出は不要とします。

(参考: FTB や FT4 による交信方法の一例)

<CQ 呼び出し>

「CQ ACC」を使用

<交換するナンバー>

メンバー局:「RST などの信号リポート+M+6 桁の GL」がナンバー

一般局:「RST などの信号リポート+6桁の GL」がナンバー

<交信例>

JN1YMP: ACC メンバー局(1 エリア支部クラブ局です)

7L3IUE: ACCメンバー局ですが、一般局の場合の例としても使用

自動交信 (YMP): CQ ACC JN1YMP PM95

自動交信 (IUE): JN1YMP 7L3IUE -08

自動交信(YMP): 7L3IUE JN1YMP R-17

自動交信(IUE): JN1YMP 7L3IUE RR73

自動交信 (YMP): 7L3IUE JN1YMP 73

----自動交信はここまで。以下は手動(マニュアル)送信----

① 手動交信 (IUE): IUE PM95RP 73 ←IUE 局が一般局の場合

② 手動交信 (IUE): IUE MPM95RP 73 ←IUE 局がメンバー局の場合

手動交信 (YMP): YMP MPM95PP 73 ←YMP は ACC メンバー局

----以上で交信終了----

この例に限らず、参加局双方で所定のナンバーが交換できていれば、その交信を有効とします。